

下水道への紙オムツ受入に向けた 検討ロードマップ等の改訂について

国土交通省

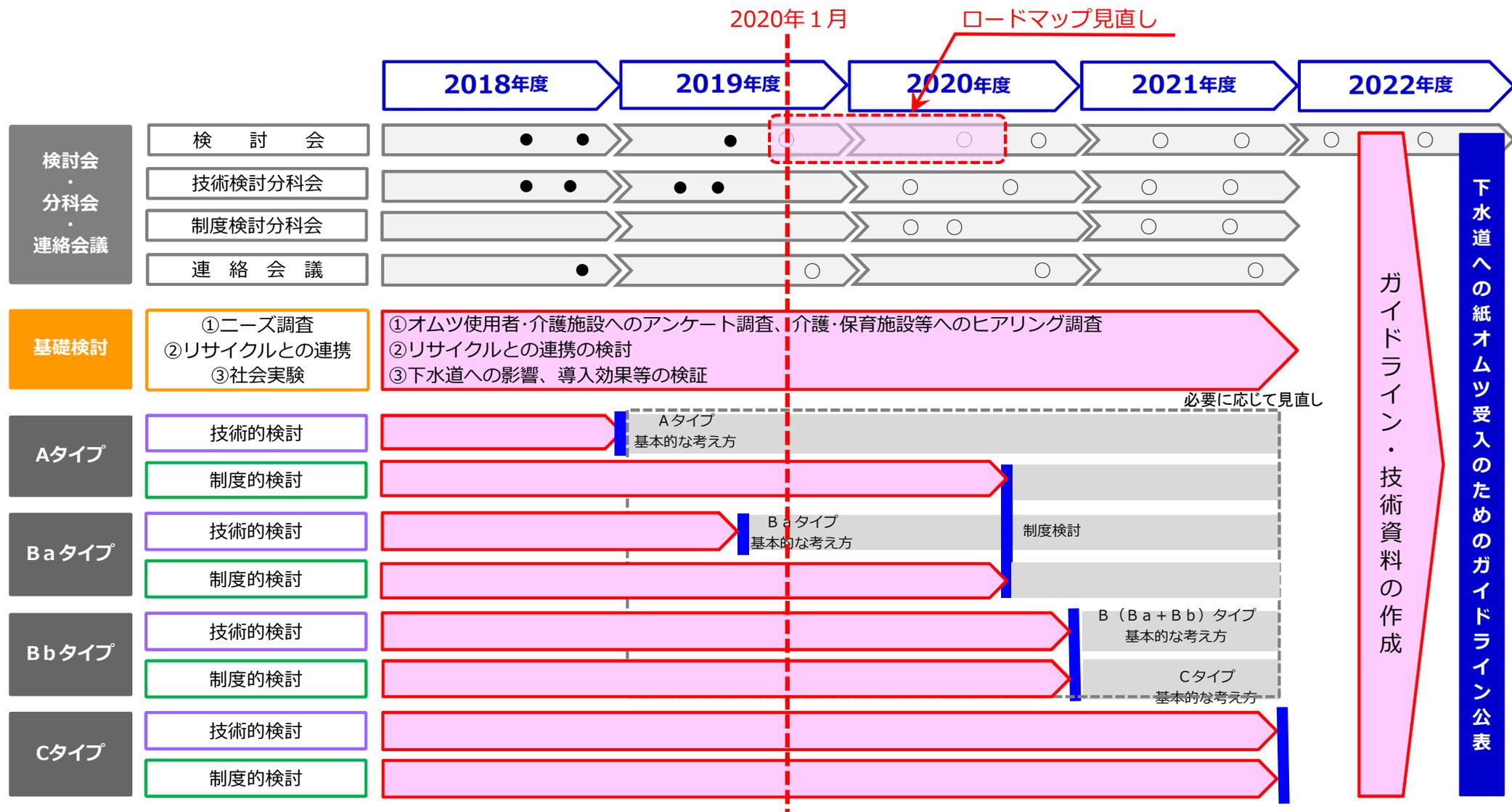
水管理・国土保全局

下水道部 下水道企画課

下水道への紙オムツ受入に向けた検討ロードマップ

- 2018年3月に策定した検討ロードマップ※に従い紙オムツ処理装置の検討を実施中。
- 社会情勢の変化や知見の蓄積状況を踏まえ、**中間年次の2020年度に見直し**。

※「下水道への紙オムツ受入に向けた検討ロードマップ」(国土交通省 2018年3月)



※過年度の実施事項は修正済み。

○ロードマップ見直しと併せて、ガイドライン公表時期を **中間年次の2020年度に見直す**とともに、以下の構成案で **ガイドラインの作成に着手**。

➤ **ガイドライン: 下水道管理者が取るべき行動の指針(主に制度面)。**

これまでに策定した「実証試験等実施における基本的な考え方^{*}」のうち、国土交通省の見解等も盛り込む予定。

➤ **技術資料: 下水道が紙オムツ処理装置に求める条件をとりまとめたもの。**

これまでに策定した「実証試験等実施における基本的な考え方^{*}」のうち、装置に求める条件等を整理する予定。

● ガイドラインの構成 当初案

1. 下水道への紙オムツ受入判断に向けた検討方法
・人口、下水道、廃棄物などの地域条件を踏まえた検討

2. 下水道における
技術的な検討内容

Aタイプ(固形物分離タイプ)の受入条件

Bタイプ(破砕・回収タイプ)の受入条件

Cタイプ(破砕・受入タイプ)の受入条件

3. その他必要事項

● ガイドラインの構成 改定案

1. 背景

○少子高齢化、下水道事業の現状

○紙オムツ使用料の推計、下水道受入の社会ニーズ など

2. ガイドライン(制度面)

○適切な設置、使用、維持管理等に関する確実な周知(A、B)

○リサイクルの推進、適切な排水管工事(A、B)

○人口、下水道、廃棄物等の地域条件を踏まえた検討の必要性(C) など

3. その他必要事項

4. 技術資料
(付属資料)

Aタイプ(固形物分離)

- 処理対象は使用済み紙オムツのみ
- 紙オムツ1枚当たり水道水11リットル以下
- 塩化物イオン濃度は1,000mg/L以下
- 破砕・破断機構を具備してはならない など

Baタイプ(破砕回収一体型)

- 処理対象は使用済み紙オムツのみ
- 紙オムツ1枚当たり水道水11リットル以下
- 塩化物イオン濃度は1,000mg/L以下
- 目幅又は孔径0.3mmの堅牢なスクリーン
- 脱水・回収機構のバイパスは設置不可 など

【今後】Bb(破砕回収分離型) / C(破砕・受入)

● 検討ロードマップの見直し



^{*}実証試験等の実施に当たっては紙オムツ分離装置の制度上の位置付けは不要であること、また、排水データ等の知見は限定的であること等を踏まえ、「実証試験等実施における基本的な考え方」としてとりまとめた。ガイドラインの作成に当たっては、制度・技術分科会において改めて検討が必要。